

本誌は日頃ご支援・ご協力いただいている日本企業・機関の皆様を主対象に TNI(泰日工業大学)と学生をいっそう理解してもらうこと、産学連携サービスをご紹介することを目的としています。TNI(泰日工業大学)は、お陰さまで開学16年目を迎え、現在21の学士課程と5つの修士課程を提供していますが、このたび9つの社会人課程を提案させていただきます。ご活用を期待しております。
2022.4. TNI 学長室・広報部

TNI の学士資格を短期間で得られる社会人教育コース (課程) のご案内

刻々と変化する経済社会状況とコロナ禍での生き残りなどを考慮し、日々頑張っておられる貴社社員の皆様の能力向上を目指したコースで、土日とオンラインを中心にした社会人コースで、最低2年半で学士資格が与えられる、現代企業が必要とする産業技術を実践的に学ぶ9つのコース(課程)です。

以下の背景・特徴・特典があります。(2020年開始しましたが、好評で9課程に拡充しました)

【背景など】 日ごろお世話になるタイの日本機関・日系企業の方から社会人教育の具体的アドバイスを頂きました。

• このアドバイスの下、TNIの親機関であるTPA(泰日経済技術振興協会)の50年にわたる経験と、TNIの15年の日系企業ニーズに応えるものづくり人材教育に基づく学生指導経験を合わせて、現代世界が求めている企業に必要な産業人材養成コースを提供します。

【特徴】 各コースのテーマ・履修内容は裏面をご覧ください。

• 各コースは、基礎科目と必修専門科目から成りますが、機材・ワークショップ・勤務先の課題解決に取り組む実践的な内容です。

- 日・タイの知識経験豊富な講師が、日系企業の課題解決に的確なアドバイスを行います。
- **専門能力・日本語・英語・組織力養成:**ものづくり思想に基づく専門技術力だけでなく、日本の環境にいないタイ人がものづくり環境も学ぶ土壌として日本語と日本理解、さらに国際社会に必要な英語とコミュニケーション力、さらに産業の土台としての組織力も学びます。
- **短期間で資格取得:**語学力及び知識経験とカリキュラム単位取得状況により、通常の4年でなく2年半で修得できます。
- 2022年6月前期開始ですが、10月中旬から開始の後期入学も可能です。
- 1コースの授業料は12-16万バーツです。



受講写真の説明

- ① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨

- ① CNC操作学習
- ② ロボット自動化学習
- ③ リーン自動化システム訓練機器
- ④ ものづくり研究センター設備
- ⑤ TPS学習
- ⑥ デジタル・リーン製造講習
- ⑦ ロジスティクス講習
- ⑧ ビジネス情報システム講習
- ⑨ 競争環境分析演習

TNI 社会人教育コース 9 課程の学習内容 (上から、課程テーマ・概要・専門科目の順)

工学部	1. ロボティクス・リーン自動化学 (RE) Robotics & Lean Automation Engineering <ul style="list-style-type: none"> 従来の生産工学をさらに需要の高い標記テーマに改訂。製造工程設計・カイゼン、マニュアル式・自動式生産システム管理、金型などを含む工作機械設計、工場管理、高性能数値制御(CNC)設備・機材などを使った実技演習などを含む生産技術システム、生産プロセスにおける問題解決の知識とスキルを学びます。 生産工学及び実習 1・2、生産計画と管理、自動機械ツール、自動制御システム、産業ロボット、動作研究、CAD/CAM/CAE、測定方法と測定機器、安全工学、油圧式と空気圧式機器、リーン自動化とシステムインテグレーション、AI 応用生産システム、製品開発設計、機械設計、品質管理(QC)、ものづくり生産 	5. 技術・生産革新管理学 (MI) Management of Technology & Innovation <ul style="list-style-type: none"> 技術と生産革新を合わせて学び、またビジネス開発で日本の「ものづくりの考え方」を現場に適用します。生産管理、品質管理、資本管理、人事管理、物流、サプライチェーン管理、組織分析などの経営スキルを学びます。これらは、特に製造業の組織経営に重要で、履修者は各課題に対応できるようになります。 生産計画と管理、技術管理、ものづくり製造、品質管理、ロジスティクス管理、全社的保全管理(TPM)、トヨタ生産システム(TPS)、企業診断と事業計画、エネルギー環境安全管理、動作研究、製造コスト管理、全社的品質管理(TQM)
工学部	2. 産業工学 (IE) Industrial Engineering <ul style="list-style-type: none"> 生産現場で実際に使用される機器やツールを使い、より深い IE と経営知識とスキルを学びます。生産計画、生産プロセスの改善、物流管理を含む品質管理の理論と応用を学びます。 経済性工学、総合的設備管理(TPM)、技術者のコンピュータ・プログラミング、トヨタ生産方式(TPS)、産業のコスト分析、ロジスティクスとサプライチェーン管理、品質管理、製造工程、生産管理と計画、作業研究、安全工学、プロジェクト実現可能性調査、工場設計、工学測定方法論、自動化システム、工業材料、オペレーションズ・リサーチ(OR) 	6. 会計学 (AC) Accounting <ul style="list-style-type: none"> 管理会計、財務会計、会計情報という会計技術の 3 つの柱を提供、また BOI、日本の会計、所得税、金融、国際会計慣行などの個別分野でタイ語、英語、日本語を駆使できる会計専門家のニーズに対応。更に、ものづくりの考えに基づき、理論と実践を重視し、TNI の広範なネットワークから会計事務所などの産学連携インターンシップ研修を受けます。 会計基礎・中級・上級、原価会計、会計監査、会計情報システム、課税、財務諸表と分析、日本の会計、内部監査、国際会計、会計理論、ホテル会計、病院会計、輸出入会計
情報技術学部	3. 情報技術学 (IT) Information Technology <ul style="list-style-type: none"> コンピュータ・プログラミング、経営とデータベース設計・コンピュータ・ネットワーク、マルチメディア、コンピュータ・グラフィック、広報、顧客(関係)管理やウェブサイト上のサービスなどの分野に情報技術知識の応用を含む経営のためのデータ処理などをテーマに学生を訓練し、現代企業に必須な能力を提供します。 情報システムの設計と分析、コンピュータシステム管理、管理情報システム、E-ビジネス、通信システムとネットワーク、データベース、ウェブサイト設計と開発、マルチメディア技術、オブジェクト指向プログラミング、ソフトウェア工学、データ構造とアルゴリズム、コンピュータ・アーキテクチャ、ネットワーク・セキュリティ、CRM、サプライチェーン管理(SCM)、ERP(企業資源計画)、IT 監査 	7. 日本的人事管理学 (HR) Japanese Human Resources Management <ul style="list-style-type: none"> 企業の要望をもとに次の分野に明るい人材を養成します。特に経営知識と人事管理と開発に関し、労働倫理や道徳などの課題に理論面と実践能力、さらにこれらの知識を活用して工業製品を効率的生産する能力、英語と日本語のコミュニケーション力を付与します。 組織と人事管理、会計と財務、商法、経営情報システム、人事心理学、採用、訓練と人材開発、タイと日本の人事管理比較、労働法・労働組合、報酬と福利厚生、人事データ分析、業務・業績管理、人事管理戦略、人事管理倫理、日本式リーダーシップ管理、人事管理研究
情報技術学部	4. ビジネス情報技術学 (BI) Business Information Technology <ul style="list-style-type: none"> 情報技術の進展は、ビジネスや経営に益々重要な役割を果たすという認識の下、国際計算機学会(ACM)の理論知識を実践的な訓練に統合する標準カリキュラムに基づいて設計、学生に情報技術、特にビジネス情報技術について設計、分析、データ処理、管理に焦点を当てた知識とスキルを付与し、企業や工場の課題に対応できるようします。 ビジネス情報システム、会計財務、組織管理、マーケティング、物流と生産、ソフトウェアプロジェクト管理、顧客管理(CRM)、企業資源計画(ERP)、サプライチェーン管理(SCM)、ビジネスプログラム開発、データ分析とモデリング、電子コマース、モバイルアプリ開発 	8. ロジスティクス・サプライチェーン管理 (LM) Logistics and Supply Chain Management <ul style="list-style-type: none"> 物流サービスを開発する総合過程や、システムやプロセス、リソース配分を効果的に分析する能力を含む、生産をサポートする最適化された支援操作に焦点を当て、物流とサプライチェーンの包括的サービスにおけるプロジェクト管理の理論と実践の両方を可能にする人材を育成します。 ロジスティクス・サプライチェーン管理 運送と流通管理、ロジスティクスとマテハン技術、倉庫管理、購買とサプライチェーン、ロジスティクス: 評価・工場設計・原価管理・戦略経営・日本の管理・計画・情報技術
		9. デジタルマーケティング学 (DM) Digital Marketing <ul style="list-style-type: none"> インターネットや IT 技術など「デジタル」を活用したマーケティング手法を学習・実践します。 創造性あるビジネス DM 入門、革新的な製品とサービス、価格戦略、マーケティングチャネル、流通パートナー創造、DM プロモーション、消費者行動、デジタルサービス革新、デジタル販売管理、市場調査と結果分析、デジタルブランディング、DM 戦略、マーケティング倫理、DM オペレーション・コミュニケーション、顧客管理と顧客体験など。